

ISSN 0288-139X

水草研究会会報

47号 (1992年8月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 47 (Aug. 1992)

水草研究会

— 目 次 —

福井 順治・清水	源：静岡県のヒシ属果実の形態変異の分析……………	1
岩村 政浩	佐賀県におけるタヌキモ類の分布……………	6
角野 康郎・久米 修	香川県の冬緑性アオウキクサ属植物……………	11
角野 康郎	湿地・湿原関係文献目録（植物）1……………	15

文献リスト、他

〔表紙写真〕タマミクリ（北海道磯谷郡蘭越町にて）

植物のレッドデータブック（1989）には、絶滅危惧種として4種のミクリ属植物（ミクリ、ヤマトミクリ、ナガエミクリ、ヒメミクリ）がリストアップされている。地方によっては河川や水路の雑草としてミクリの仲間が多産するので、どこが絶滅危惧種かと思われるかもしれないが（もっとも沈水形や浮葉の状態でミクリ属と認識されていればの話である。セキショウモやときにはアマモ!?!と同定されている）、全国的に見れば、その減少は著しい。ミクリ属の問題は、生育していても花序をつけない限り同定はほとんど不可能ということである。水路にたなびくミクリの仲間は花を付けていないことが多く、いったいどの種がどのような環境に生育するのか正確なデータが無い。

タマミクリは北日本を中心に分布する種で、レッドデータブックには挙げられなかったが、私の経験ではかなりの稀産種ではないかと思う。雄性頭花が1～2個しかないことが特徴で、花序があれば他の種と混同することはない。 （写真と文 角野康郎）